

令和7年度第4回地方独立行政法人茨城県西部医療機構評価委員会 会議録

日 時：令和7年11月6日（木） 午後6時30分から午後7時15分まで

場 所：オンライン会議（事務局：茨城県西部メディカルセンター会議室）

出 席：榎戸委員、豊崎委員、中島委員、原委員（50音順）

事務局等：■茨城県西部医療機構

□茨城県西部医療機構

水谷理事長

□茨城県西部メディカルセンター

梶井病院長、近藤副病院長兼診療所長兼地域医療連携部長、

佐久間副病院長兼事務部長、菊地副病院長兼看護部長、

仁平事務部副部長、犬田事務部副部長兼人事課長、市村事務部調整監、

森総務課長、飯島経理課長、飯島経営企画課長、山越医事課長、

塚越医療支援課長、横田地域医療連携室長

□ちくせい総合健診センター

松村センター長、福原業務課長

■事務局（筑西市）

設楽市長

保健福祉部：高島部長、寺内副部長

保健福祉部地域医療推進課：長塚課長、大島係長、池沢主任、松永

1 開 会

司会から会議成立の報告

2 市長挨拶

設楽市長から挨拶

3 議 事

地方独立行政法人茨城県西部医療機構評価委員会条例第6条第1項の規定により、榎戸委員長が議長として議事を進行する。

（1） 地方独立行政法人茨城県西部医療機構 第3期中期計画の策定について（協議）

議 長 はじめに、議事（1）地方独立行政法人茨城県西部医療機構 第3期中期計画の策定について、西部医療機構から説明をお願いします。

法 人 （資料1・資料2・資料3・資料4 について説明）

議 長 議事（1）の説明が終了いたしました。

ただいま、西部医療機構から説明がありましたことについて、御意見、御質問のある方はいらっしゃいますか。

委員 前回と比べてかなり現実的なものになっている。

気になるのは、資料1、7ページの在院日数、15日から13日となっていますが、これはDPCのみですか。それともDPCも含めた、急性期病床ということでしょうか。いずれにしても、大学やその他の病院の経営を見ても、DPCの在院日数を、あんまり短くしても回転率が上がるわけではないので、必ずしもよろしくない、2期が70%ぐらいになるには、大体11から12日ぐらいの日数が経営的にはいいのかと思いました。

もう1つは、資料2、看護師数等も見直して、これは妥当だと思うのですが、多分、手術件数が増えると、HCUの充実とか、その辺が重要になってくると思います。その時、看護師数が足りるのか。もちろん急性期じゃないところからは、看護師が引き上げられますので、多分足りると思うのですが。看護師の特定行為の研修が必要になってきます。そうすると、その人は、約1年近く現場にいない。その辺も含めて、看護師数が足りるのかお聞かせください。

法人 手術件数については、整形外科は10%ぐらい、消化器外科については5%ぐらい増えると見込みで入院単価を設定いたしました。このパーセンテージであれば看護師の教育や負担については、また回復期病床をつくるということもありますので、それほど逼迫しないのではないかと考えております。

一方で特定看護師については、研修期間抜けますので、これについてはこの人数では足らなくなる可能性はあると思うのですが、そこは、2年目3年目の報酬改定で、それに合わせて利益が上がってくれば、雇用が出来るのではないかと考えております。

それから、DPCについては、これは2期3期とやっているのですが、内科が6割ぐらいの入退院を占めているので、どうしても内科については比較的、幅のある2期がありますので、あんまり厳しくしないで、効率的にその診療機能では全体で決めるということにした。

これからは、やはり急性期の病院がやっているように診療科別、診断別で、もう少し精度を上げていくようにしていきたいと思います。

委員 よくわかりました。

法人 前回、委員の方より、中期計画で資金のマイナスというのは、あり得るのだろうかという御指摘をいただいたかと思うのですが、今度、計画が市の認可となってくると、今度それが実現可能性かどうかとなると、資金がマイナスになると果たしてこういった計画でよろしいのでしょうか、というのは考えております。

今回ご指摘いただいて、かなり現実的且つ収益性が少しでも上がる方向で、通常使う数字じゃなくて計画を出してはいたのですが、やはり費用削減として減価償却やいろいろな趣旨の部門のシステムがあり、消せないものがあり、このような途中でマイナスになる計画を果たして認可いただけるのか提示していいのかどうか。それから、起債ということで書いているのですが、起債というのは要するにお金を返す見込みがないと、やはり当然借りられないのです。この計画だと返す見込みがない計画になっているので、ご指摘いただいたマイナスと資金が止

まってしまうこの計画というのがいいのかどうか、教えていただければ幸いです。

委員 やはり資金が最終的に、現金残がマイナスになってしまうというところは、計画としては正直難しい。実現可能性として現実的ではないという考えは確かにその通りだということではあって、それについて資金の確保をどこかでしないといけないと思うのです。それを、どこかで見込んでおくということが1つ現実的なものとなるのでしょうか、ただ、実際に借りられるのかということもありませんので、そのあたりどうなのでしょう。

事務局 中期計画の資金不足の部分での御質問ということですのでけれども。

まず中期計画、現在のスケジュールで、令和8年の第1回の市議会定例会に上程予定となっております。上程するにあたりまして、今現状の資金計画、マイナスになっている計画というところだと、おそらく議員さんの賛成は得られずということで、この計画自体を発効できなくなってしまうという恐れがありますので、市側としましては、法人の皆様にも今一度、収入の部分で収益の部分と、支出の部分で再度精査していただいて、資金計画で何とか第3期期間中は、持ちこたえていただくような計画を作っていただきたいと思っております。

今、いただいている計画ですけれども、令和8年と令和10年の診療改定は、まだ見込まれてない数字でございますので、その改定も、少し期待しつつ、その間に、病院の構造的な赤字体質という部分で、改革をしていただければと思っております。

ちまたでは高市政権に変わりました、1病床当たり何十万か何百万円かわからないのですけれども、補助金という話も出ていたりしますので、その辺りも期待するところではありますけれども、市側としては現状、筑西市本体としましては、厳しい財政状況でございます。そういった面で、法人に新たな補助金等を検討するというのは、現状で至ってないという状況でございます。次回の第5回評価委員会、来年の1月20日に予定しているところではございますが、そちらに向けて今一度、計画の精査をお願いしたいと思っておりますのでございます。

議長 今、高市政権の話が出ましたけれども、与党としてついているのが維新ということで、維新は、医療費削減を訴えておりますので、どう転ぶか全く今のところは予想がつかないと思っております。もちろんいいほうに転べばいいのですが、やはりいろいろな方法を使って資金繰りを探っていく必要があるのかと。現時点では、それしかないとは思っております。

法人 議会に出せるように、もう少し作り直して欲しいという、御指示を真摯に受けとめいたします。一方で、年度末4年間で最終的に資金が約30億円の資金がなくなるという数字で、当院の入院、医業収入自体は約43億45億円ですので、まさに5%以上の診療報酬の改定がないと、やっぱり年間7億円近くの増収とは見込めないと思っております。最初からあきらめるということはもちろんございません、もう少し見直して、工夫して検討してみようと思う。病院の収入全体からすると31億円という数字は、大変大きいものでございます。しっかり、検討して

いくところではございますが、診療報酬改定だけではやっぱり、当てにできない
というかむしろ当てにしてはいけないのではないかと考えております。

委員 まず1つは補助金ですよ。議会に出すのはいつですか。1月過ぎてからですか。

事務局 中期計画を議会に上程するのは、来年2月から3月という予定になってございます。

委員 わかりました。1つは、1次補正は絶対出てくると思う。ただ、どういう出方をするかがまだ決まっていない。本当に使いやすい形で出てくるかどうかは、財務省次第なのでわからないのですが、いずれにしても、県が3分の1を持つような補助金になってくると思うので、県とは、是非とも病院或いは市の方で折衝を続けていただきたいというふうに思います。大学病院も県とずっと折衝はしているので、そういう細かい努力はされた方がいいと思うのと、診療報酬改定は、病院に関しては5%ぐらいの診療報酬改定はありえます。だから、それほど悲観的ではないと実は思っています。ただ、それを書き込むことができるのは、例年6月ですが、それを4月に早めにやると言っていますが、まだ少なくとも1月の時点で書き込むことはなかなか難しいと思うので、市の方にも、ご理解いただきたいとします。

事務局 県に問い合わせしてみたいと思います

議長 今回の意見を踏まえて検討した資料を、次回の評価委員会で、改めて提示いただきたいとしますので、引き続きよろしく申し上げます。

以上で、今回の議事が終了しましたので、進行を事務局にお戻しします。

皆様、御協力いただき誠にありがとうございました。

6 連絡事項

事務局から以下のことを説明

- ・ 今後のスケジュールについて

地方独立行政法人茨城県西部医療機構評価委員会：WEB会議（ZOOM）

第5回 令和8年1月20日（火）18時30分から ※状況に応じて書面会議

7 閉会